



全国スキー協通信

〒114-0014 東京都北区田端 1-24-22 山柿ビル 3F 電話番号 03-5842-1931

URL <http://www.mmjp.or.jp/wsaj> e-mail wsaj@post.email.ne.jp

2025 年 11 月 1 日 No.533 発行責任者 小川洋 編集 芦村憲一

【郵便振込み】口座番号：00180-7-82138 加入者名：全国勤労者スキー協議会

全国スキー協第 34 期 第5回常任理事会議事録

日 時 2025 年 10 月 20 日 20:00～

議 題

- 1 この間の日程
9月27日 関西 B 学習交流集会
9月27～28日 関越 B 学習交流集会
10月 5日 関西 B ブロック会議
10月17日 ス安対総会 新御徒町
- 2 これからの日程（常任理事会は毎月第3月曜日と第4木曜日を交互に開催）
10月25～26日 東海 B 学習交流集会
11月 9日 第34期第2回全国理事会 13:00～17:00
11月15～16日 新スポーツ連盟60周年レセプション並びに理事会 名古屋市内 小川参加
11月27日 第6回常任理事会
11月29～30日 全国技術部会
12月 6～ 9日 中央研修会 志賀高原横手山 or 熊の湯 スキー場
12月20～21日 山スキーリーダー講習会 柵池高原スキー場
- 3 各部局から報告・討議
●総務部 精算票の再検討結果は？
●競技部 競技規則について 全国理事会へ提案？
●指導員部から 指導員登録 他報告があれば
- 4 全国理事会議案討議
- 5 その他
常任理事会内規については意見が無かったので前回提案で運用

全国理事 各位 2025年10月7日
全国勤労者スキー協議会
会 長 和田 利男
理事長 小川 洋

34期第2回全国理事会開催について

酷暑と豪雨の影響で各地に大きな被害のあった夏も終わり、いよいよシーズン到来となりました。

9月6日は山スキー部50周年レセプションも行われました。海外スキーに引き続き記念行事も開催が予定されています。

朝晩はだいぶ涼しくなり、私の地元の八甲田山や岩木山でも紅葉が見ごろの季節になっています。

こうした中で6月の全国総会で確認した総会方針の具体化と来るシーズンでの前進に向けた意思統一を行う全国理事会を下記要項で開催いたします。

全国理事のご出席をお願い致します。

—記—

日 時 11月9日(日) PM1:00～

会 議 ZOOMを使用したオンライン会議 後日、アドレスをお送りします。

富良野スキー場では、ヘルプマークのポスター掲示を始めました

ヘルプマークを知っていますか？ 援助や配慮が必要な方のためのマークです。

外見からはわからなくても援助や配慮が必要な方がいます。このマークを見かけたら、困っているようであれば声を掛けるなど、思いやりのある行動をお願いいたします。

スキー場スタッフにも気軽に声をかけてください。



山岳での雪崩死者数の活動別変化 ー過去 35 年間 (1990/91-2024/25) にみる傾向ー

○出川あずさ¹

1. はじめに

国内では過去 35 年間 (1990/91-2024/25) で 212 件の雪崩死亡事故が発生し、311 人が死亡し、152 人が怪我を負っている。雪崩死亡事故の発生場所は、山岳 86%, スキー場 5%, その他 (施設・作業現場・道路) 9% である。

安全管理がなされているスキー場では、来場者の死亡事故はほぼすべて閉鎖区域で発生しており、開放されたコースでの死亡事故は 1997 年 1 月以降発生していない。ここでは雪崩死亡事故の大多数を占める山岳での活動別の死者数の変化を整理した。

2. 区分

2.1 場所

事故の発生場所は「山岳」「スキー場」「作業現場」「施設」「道路」の 4 区分とした。作業現場とは施工者によって各種工事が行われている場所であり、施設は建物などの構造物を指す。

スキー場は外周コースで囲まれた内側である。これは索道事業者およびスキーやスノーボードの専門組織等で構成される全国スキー安全対策協議会の指針『スノースポーツ安全基準¹』で明記された「スキー場境界線と立入禁止区域を明示したマップの作成は管理者の責務」(第 3 章 2-1-2) に基づいている。この安全基準は全国すべてのスキー場に適応される業界規則であり、志賀高原前山スキー場での雪崩死亡事故 (1996 年 1 月) に関わる判例²において、その法的有効性が示されている。

2.2 活動

活動区分は様態を基本とし、歩行形態である「登山」(スノーシューを含む)、滑走形態として「スキー」「スノーボード」、そして事故が限定的なスノーモビルと釣りは「その他」とした。また、山岳での狩猟や林業での作業、救助隊等は、その行動形態が一般とは異なるため、これらもその他の区分に収録した。

2.3 期間の区切り

雪崩の死者数はシーズン毎の変動が大きいので、5 年で一区切りとしてまとめることで、その変化を把握しようと試みた。

3. 結果

山岳での雪崩死者数の活動別変化を図 1 に示す。初期 10 年間 (1991-2000) では、登山が山岳での死者の 71% を占めていたが、その後、直近 10 年間 (2016-2025) で 40% まで減少した。一方、同期間で滑走 (スキーとスノーボード) の死者は 16% から 54% へ増加した。また、中間期 (2006-2015) にスキーの死者が急増したが、その後、減少に転じている。一方、スノーボードの死者は徐々に増えていることがわかった。

4. 議論

4.1 多人数が死亡する事故

死者数の多い期間に多人数が死亡する事故が複数発生している場合があり、その増加理由を検討する際に注意が必要である。

初期 10 年間 (1991-2000) であれば、登山の事故として宝剣岳千畳敷カール (1995 年 1 月・6 人)、氷ノ山北東面 (1997 年 1 月・5 人)、剣岳早月尾根 (1997 年 12 月・5 人) がある。

一方、中間期 (2006-2015) では、スキーの事故として笠ヶ岳

穴毛谷 (2006 年 4 月・4 人)、針ノ木雪渓 (2006 年 5 月・3 人)、上ホロカメットク山化物岩 (2007 年 11 月・4 人)、真砂岳 (2013 年 11 月・7 人) などがある。

この他、登山の事故として、北アルプス槍平 (2007 年 12 月・4 人)、剣岳小窓尾根 (2013 年 12 月・4 人)、那須茶臼岳 (2017 年 3 月・8 人) などが大規模な事故となる。

4.2 訪日外国人の影響

政府が 2003 年に開始したビジット・ジャパン事業により、訪日外国人旅行者は 2013 年に 1000 万人を超えた。さらに観光庁はスノーリゾート活性化検討会にて、バックカントリーでのスキーをプロモーションする施策を 2015 年から開始した。民間を含めた誘客活動により、滑走を目的とする訪日外国人は増え、それに伴い雪崩死亡事故も増加した。

直近 10 年間 (2016-2025) をみると、訪日外国人による山岳での雪崩死者は 13 人であり、その活動はすべて滑走である。この期間における山岳での滑走の死者の 35% (スキーでは半数) を訪日外国人が占めており、その国籍も NZL, USA, FRA, NOR, DEU, RUS と幅広い。また、この期間はコロナ問題により訪日外国人がほぼいなかった 2 年間 (2021-2022) が含まれている。

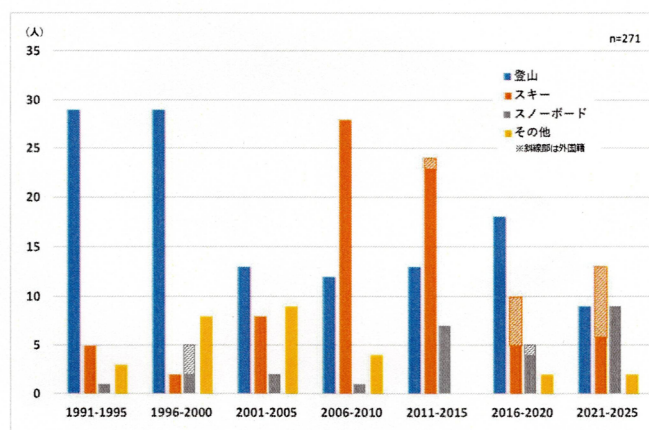


図 1 山岳での雪崩死者数の活動別変化 (1990/91~2024/25)

5. まとめ

登山の死者は減り、滑走の死者が増加していることが明らかとなった。ただし、その原因については大規模な事故や訪日外国人の影響を考える必要がある。当組織としては 2006 年から実施している大規模事故を防ぐ安全啓発『Think SNOW³』や雪崩情報を通じて山岳での雪崩事故を減らす取り組みを続けたい。

参考文献

- 1) 全国スキー安全対策協議会:『スノースポーツ安全基準』。
<https://www.nikokyo.or.jp/pages/36/> (2025 年 6 月 20 日閲覧)。
- 2) 長野高判平成 13 年 2 月 1 日 判例時報 1749 号 106 頁。
- 3) 日本雪崩ネットワーク:『Think SNOW』。
<https://snow.nadare.jp/basic/safety-measure/> (2025 年 6 月 20 日閲覧)。

1 特定非営利活動法人日本雪崩ネットワーク

2025シーズン・雪崩インシデント

250731 A.Degawa@JAN

	日付	場所	都道府県	総人数	遭遇	死亡	怪我	場所	形態	活動	調査	区分
1	2025/1/16	岩木山	青森県	13	2	0	1	山岳	業務	滑走(S)	*1	—
2	2025/1/16	谷川岳西黒沢	群馬県	2	1	0	1	山岳	レク	滑走(B)	*	3
3	2025/2/2	ベケレベツ岳	北海道	1	1	0	1	山岳	レク	滑走(S)	*1	—
4	2025/2/8	日光庵滝	栃木県	3	1	0	1	山岳	レク	登山	*1	—
5	2025/2/10	根子岳	長野県	3	1	0	1	山岳	レク	滑走(S)	*1	—
6	2025/2/14	南アルプス鋸岳	山梨県	3	1	0	1	山岳	レク	登山	*1	—
7	2025/2/18	夏油高原スキー場	岩手県	3	1	1	0	スキー場	業務	滑走(S)	*1	—
8	2025/2/18	トマムリゾート	北海道	3	1	0	1	スキー場	業務	パト	*	—
9	2025/2/20	余市岳	北海道	2	1	0	1	山岳	レク	滑走(S)	*	2
10	2025/2/22	比良山系堂満岳	滋賀県	5	4	0	1	山岳	レク	登山	*1	—
11	2025/3/1	谷川岳ーノ倉沢	群馬県	2	2	2	0	山岳	レク	登山	*1	1
12	2025/3/20	谷川岳熊穴沢	群馬県	1	1	1	0	山岳	レク	滑走(B)	*	3
13	2025/3/23	南富良野大麓山	北海道	4	3	0	1	山岳	レク	その他	*	—
14	2025/5/13	北穂高岳	長野県	3	3	1	1	山岳	レク	登山	*	—
15	2025/6/21	北股岳	山形県	2	1	0	1	山岳	レク	登山	*	—

※上記リストは公的救助隊が出動した事案

50 24 5 12

*調査, *1 HP掲載

※夏油高原：閉鎖区域への侵入。米国。インバウンド・ツアー。

※トマム：消防への通報の際、ドクヘリの利用を進言された。ドクヘリで現着の医師により、救急車搬送の判断。